

令和5年8月8日
総務部

令和5年度事務事業の見直し・改善 重点取組分(事務編) 部局重点取組内容

部局名	区分	No	事務事業名		取組みの内容	削減事務量 ※6月時点見込	経費削減額 (一般財源) ※6月時点見込				
			見直し・改善の視点	見直し・改善の概要							
しあわせ子育て応援部	廃止・統合	1	部内日程管理	見直し期間	R5. 4. 24~R6. 3. 31	関係部局	—	▲26時間 (積算) 30M×52週= 1,560M=26H	— (積算)		
			事務事業の目的・概要	しあわせ子育て応援部の業務の円滑な運営に向けて、部長、次長等の行事予定を適切に管理するとともに、日程に係る情報の共有と効率的な調整を行うもの。							
			(1)必要性の視点	見直し・改善の概要	【見直し・改善の背景】 庶務担当者が毎週、部内職員へ共有する情報として部内の行事予定表と部次長の行事予定表の2種類を作成しているが、情報が重複していることや2種類の表に誤りがないよう突合する作業が必要であった。						
			(6)時間外勤務の縮減、業務量縮減の視点		【見直し・改善の内容】 部次長の予定に特化した予定表の管理をせず、部の行事予定表に集約するもの。						
ICT活用	2	男女共同参画推進事業費	見直し期間	R5. 7. 1~R6. 3. 31	関係部局	—	▲60時間 (積算) ・回答用紙エクセル入力作業 3M/件×約1,000件=50H ・エクセル集計作業 10H	— (積算)			
		事務事業の目的・概要	デートDV防止のための出前講座を県内の高校等で実施するもの								
		(3)事業の進め方の視点	見直し・改善の概要	【見直し・改善の背景】 講座実施後に、生徒から紙のアンケートに感想等を記載してもらい回収していたが、集計作業が負担となっていた。							
		(4)支出の適正性の視点		【見直し・改善の内容】 アンケート実施方法を見直し、インターネットを利用したWebアンケートで実施することにより、集計作業を簡略化し、職員の負担軽減につなげる。							
			(6)時間外勤務の縮減、業務量縮減の視点								

部局名	区分	No	事務事業名	取組みの内容			削減事務量 ※6月時点見込	経費削減額 (一般財源) ※6月時点見込		
			見直し・改善の視点							
健康福祉部	簡素化	1	内部打合せの簡素化	見直し期間	R5. 4. 1～R6. 3. 31	関係部局	—	▲210時間 (積算) 7人×1H×30件＝ 210H	— (積算)	
				事務事業の 目的・概要	資料作成業務					
			(3)事業の進め方の視点	見直し・改善 の概要	【見直し・改善の背景】 新型コロナ対策等のために業務が増加しており、その分、事務の簡素化により業務量を縮減する必要がある。					
			(6)時間外勤務の縮減、 業務量縮減の視点		【見直し・改善の内容】 議会の答弁作成では、最初に部内幹部との対面レクを行い、方向性等を共有した後は、原則対面レクを行わず、具体の文面調整・資料作成を進める。「資料作成4ない運動」の推進。					
健康福祉部	ICT活用	2	Web会議の推進	見直し期間	R5. 4. 1～R6. 3. 31	関係部局	—	▲636時間 (積算) <庄内> 3人×3.5H×52週 ＝546H <最上> 3人×2.5H×12 月＝90H	— (積算)	
				事務事業の 目的・概要	庄内地域コロナ対策会議、最上地域医療連携に関する情報交換会への参加					
			(3)事業の進め方の視点	見直し・改善 の概要	【見直し・改善の背景】 新型コロナ対策などの感染症対策は、現場における直近の感染状況や医療提供体制等を、適時適切に把握した上で、迅速に対策を講じることが重要である。					
			(6)時間外勤務の縮減、 業務量縮減の視点		【見直し・改善の内容】 庄内地域で毎週、最上地域で月1回行う医療関係者・消防機関によるコロナ対策会議に、本庁職員も対面によらずWebを活用して参加し、現場の直近の状況把握等に活用する。					

部局名	区分	No	事務事業名		取組みの内容	削減事務量 ※6月時点見込	経費削減額 (一般財源) ※6月時点見込			
			見直し・改善の視点							
産業労働部	廃止・統合	1	行政計画策定業務	見直し期間	R5.11.1~R7.3.31	関係部局	—	▲102時間 (積算) ・計画策定作業 10人×2H/月× 17月×0.3(計画の 共通割合)=102H	— (積算)	
				事務事業の 目的・概要	第4次総合発展計画における産業・経済に関する基本計画である「山形県産業振興ビジョン」及び本県のものづくり産業に特化した実施計画である「山形県ものづくり産業振興戦略」を策定・所管している。					
			(3)事業の進め方の視点	見直し・改善 の概要	【見直し・改善の背景】 ものづくり産業に特化した実施計画である「山形県ものづくり産業振興戦略」には、基本計画の側面もあり、「山形県産業振興ビジョン」の内容と共通する部分がある。また、2つの計画の計画期間(R2-R6)が一致しており、検討組織も山形県産業構造審議会と同じであることから、計画の統合が可能と考えられ、行政計画の削減及び事務の効率化を図るため、見直しを行うもの。					
			(6)時間外勤務の縮減、 業務量縮減の視点		【見直し・改善の内容】 行政計画の体系を見直し、「山形県産業振興ビジョン」に「山形県ものづくり産業振興戦略」を統合することで、振興戦略の策定に必要な(振興ビジョン策定では生じない)統計データ加工、編集、パブリックコメントによる情報発信等に要する事務量を削減する。					
産業労働部	ICT活用	2	指名業者選定審査会 開催業務	見直し期間	R5.10.1~R6.1.15	関係部局	—	▲3時間 (積算) ・資料印刷等準備 作業・文書裁断作 業 0.2H×16回≒ 3.0H	— (積算)	
				事務事業の 目的・概要	産業労働部(出先機関を除く。)が所管する建設工事、建設工事に係る業務委託(設計、測量、調査、コンサルタント業務をいう。)及び工事材料並びにその他業務委託等の発注にあたり、契約事務の適切な運用を図るため、山形県産業労働部所管事業指名業者選定審査会を開催する。					
			(3)事業の進め方の視点	見直し・改善 の概要	【見直し・改善の背景】 審査会は、あらかじめ指定された職員により構成され、事業担当課長から提出される審査様式・説明資料に基づき、審査される。審議内容は秘匿されるべきものであるため、説明資料は終了後に処分しているが、紙量が膨大であり、事務作業の負担や印刷経費の無駄が生じている。					
			(6)時間外勤務の縮減、 業務量縮減の視点		【見直し・改善の内容】 業務量及び紙量削減のため、説明資料は審査委員が持つタブレット端末で共有し、審査会終了後は、説明資料のデータを削除する運用に見直す。					

部局名	区分	No	事務事業名		取組みの内容	削減事務量 ※6月時点見込	経費削減額 (一般財源) ※6月時点見込		
			見直し・改善の視点						
観光文化 スポーツ部	ICT活用	1	フリーアドレスにおける業務改善	見直し期間	R5. 4. 1～	関係部局	—	▲120時間 (積算) 整理整頓時間 0.5H/日×20日× 12月=120H	— (積算)
			(3)事業の進め方の視点	事務事業の 目的・概要	フリーアドレスの実施により、職員間のコミュニケーションの活性化、机の整理整頓等を促進し、職場環境の改善及び業務の円滑化を図るもの。				
			見直し・改善 の概要	【見直し・改善の背景】 職員間で共有する紙の量が多く、机の整理整頓に時間を要するため、ペーパーレス化の推進が必要。 【見直し・改善の内容】 職員間で共有する資料については、可能な限り紙ベースを減らし、PDFで共有フォルダに格納し閲覧できるようにすることでペーパーレス化を進める。					
観光文化 スポーツ部	標準化	2	県内のイベント・祭り等のPR業務（イベントカレンダー等による情報発信）	見直し期間	R5. 4. 1～	関係部局	—	▲360時間 (積算) ・確認作業 30H/月×12月 =360H	— (積算)
			(3)事業の進め方の視点	事務事業の 目的・概要	毎月、県内のイベント・祭り等をSNS等を通じてPRすることで認知度向上と誘客促進につなげるもの。				
			見直し・改善 の概要	【見直し・改善の背景】 ・各市町村及び各部局からの報告内容に不備がある場合があり、資料を作成する際、内容の確認に時間を要しているため、報告方法の見直しを行うもの。 ・SNS等での情報発信について、公表手続きの見直しを行うもの。 【見直し・改善の内容】 ・各市町村及び各部局からの報告様式を見直すことで、入力誤りを防ぐとともに、関連するイベントのアドレス欄を設けるなど、報告後の確認作業の時間短縮を図る。					